

次世代の地域リーダーを養成する新学部について

～県立大学 文系新学部の設置に関する有識者会議 提言書の概要～

令和5年12月11日
大学私学課

1 目的・背景

- 本県では、大学進学を契機とした若年層の県外流出が大きな課題となっており、**県内高校生の進学の受け皿拡大**に取り組むべき
- 県内産業界や自治体は、変化する国際・情報社会に順応しつつ、**新事業の創出や課題解決に取り組むことができる人材を必要**としている
- 産業振興や自治体運営などにおいて新たな価値を創造し、地域独自のイノベーションをもたらす**地域のリーダー的人材を養成する新学部の設置**が求められる

2 目指すべき人材像

- 現場力・マネジメント力**に加え、将来起こり得る出来事に先んじて対応できる**主体性と実行力**を身につけ、**地域社会に新たな価値を創造し、変革をもたらす人材**を養成

3 新学部の方向性

- イノベーションの創出に欠かせない、

- ① 地域産業（例：企業経営、産業経済）
- ② 地域創造（例：スタートアップ、事業承継）
- ③ 地域政策（例：公共政策、まちづくり）

という3分野の専門的理論を学修しつつ、県内外におけるフィールドワークを通じて、地域社会や産業の高度化・グローバル化に貢献する人材を養成する学部

4 新学部の概要

- (1) 名称案：地域イノベーション学部、地域共創学部、地域探究学部
- (2) 定員：70名以上
- (3) キャンパス：永平寺または福井駅周辺のまちなかの2案検討

5 新学部の特徴

- 学生が地域社会に出向き、現場での実践力を重視した教育**を重視

〔①フィールドワーク〕

県内外の地域や海外において、実際の地域課題をテーマとした**フィールド演習**や**PBL**（課題解決型学習）を展開

〔②就労体験型学習〕

企業や自治体と連携し**数か月にわたる就労体験学習**を導入

〔③国内留学制度〕

各地の地域課題を学ぶため**首都圏をはじめ国内大学との単位互換制度**を創設

〔④データサイエンス〕

データの収集・分析から事業の企画立案を行う**演習**を導入

<カリキュラムのイメージ>

	1年次	2年次	3年次	4年次
専門教育	基礎理論と応用（地域イノベーション）			
		専門教育 Ⅰ 地域産業 Ⅱ 地域創造 Ⅲ 地域政策 の3分野		
演習	初年次ゼミ（基礎演習）	地域フィールド演習（県内） 地域データ分析Ⅰ 実践英語Ⅰ	地域フィールド演習（県外・海外） 地域データ分析Ⅱ 実践英語Ⅱ	卒業研究
体験型学習		○国内留学（単位互換制度） ○就労体験型学習（長期インターンシップ）		